

# 第1章 名古屋市の予算と市税収入

## 令和3年度予算の主な事業内容

### 戦略1 子どもや親を総合的に支援し、未来を担う人材を育てます

#### 小学校3年生での35人学級の実施 5億6,970万円

国の計画に1年先駆けて、子ども一人ひとりを大切にしたいきめ細やかな指導を行います。

#### ナゴヤ・スクール・イノベーション事業

子ども一人ひとりの興味・関心や能力、進度に応じた学習を推進します。

- 個別最適化された学びを提供する授業改善の推進  
.....2億9,843万円
- 新時代の学びを支えるICT環境整備  
(児童生徒1人1台タブレット端末の配備 など)  
..... 58億1,409万円

#### 待機児童対策 29億4,647万円

令和4年4月の待機児童ゼロを目指し、引き続き民間保育所の整備などを行います。

#### ナゴヤわくわくプレゼント事業 9億7,876万円

笑顔や希望をもって子育てをスタートできるように、子どもが生まれた家庭に名古屋市オリジナルのギフトをプレゼントします。

#### 子ども医療費の助成 111億8,763万円

令和4年1月より、通院分について、18歳まで対象者を拡大します。(政令市トップの制度)

### 戦略2 みんなにやさしい福祉を実現し、元気に活躍できるまちづくりをすすめます

#### 敬老バス対象交通の拡大及び利用限度設定 13億4,336万円

令和4年2月より、敬老バスの名鉄・近鉄・JR東海の鉄道及び名鉄バス・三重交通の路線バスへの対象交通拡大と利用限度の設定等を行います。

#### ピロリ菌検査の実施 8,751万円

令和3年10月より20～30代を対象に検査を実施します。

### 戦略3 災害から命と産業を守り、安心・安全な暮らしを確保します

#### 指定避難所通信環境の整備及び電源の確保 1億2,650万円

主要な指定避難所である市立小中学校においてWi-Fi環境を整備します。また、EV車等を活用した避難者用電源を確保します。

#### 交通安全緊急対策

- 未就学児の移動経路の歩道整備等  
.....3億3,562万円
- 自転車乗車用ヘルメットの購入費補助  
..... 2,624万円

### 戦略4 強い経済力を基盤に、にぎわいと新たな価値を創出し、環境と調和した都市機能を強化します

#### リニア中央新幹線開業に向けたまちづくりの推進

都心の魅力づくりとして、名古屋駅ターミナル機能強化に係る駅前広場周辺の再整備等を進めます。

- 名古屋駅ターミナル機能の強化... 12億4,700万円
- 名古屋駅周辺まちづくりの検討..... 2,600万円

#### グローバルスタートアップ創出促進事業 3,500万円

世界に通用するスタートアップ企業を創出するため、グローバル展開を目指すスタートアップ企業の急速な成長を支援します。

#### 国際展示場第1展示館移転改築等

- 国際展示場第1展示館移転改築 113億1,195万円
- 国際展示場コンベンション施設整備 20億630万円
- 国際展示場歩行者デッキ整備 11億1,287万円

#### 名古屋スポーツコミッション(仮称)の発足 6,000万円

スポーツ大会の誘致やスポーツによる地域活動の活性化等に官民連携して取り組む組織を発足します。

重点戦略の主な取り組みの詳細や  
その他主要施策をWebで紹介しています。

名古屋市 令和3年度主な施策等一覧

検索



# 一般会計予算と市税収入

## 《予算》

予算は、**一般会計、特別会計、公営企業会計**の3つに分けられます。

特別会計は、特定の事業を行う場合など一般の歳入歳出予算と区分して経理する必要がある会計です。

また、公営企業会計は、企業的色彩の強い事業で、サービスを受ける人が支払う料金で運営することを原則とした会計です。

〈特別会計の例〉

- 国民健康保険会計
- 後期高齢者医療会計
- 介護保険会計 など

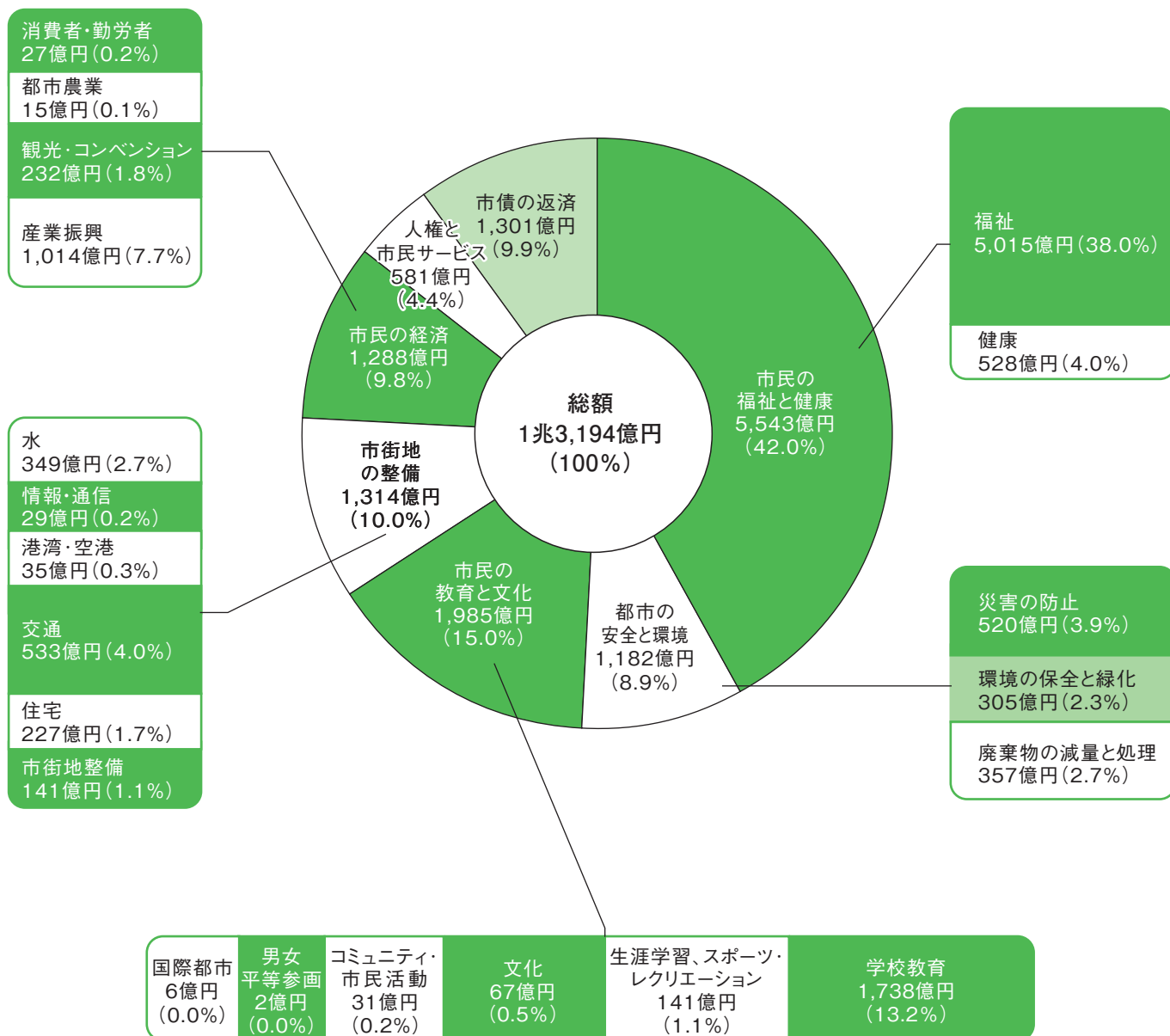
〈公営企業会計の例〉

- 病院事業会計
- 水道事業会計
- 自動車運送事業会計
- 高速度鉄道事業会計 など

令和3年度の当初予算総額(一般会計、特別会計、公営企業会計を合わせたもの)は、2兆7,493億円となっています。このうち、市税をおもな財源とし、福祉・教育など市政の基本的な施策にかかる経費の会計である一般会計は1兆3,194億円となっています。

## 《歳出予算》

〈歳出の内訳〉



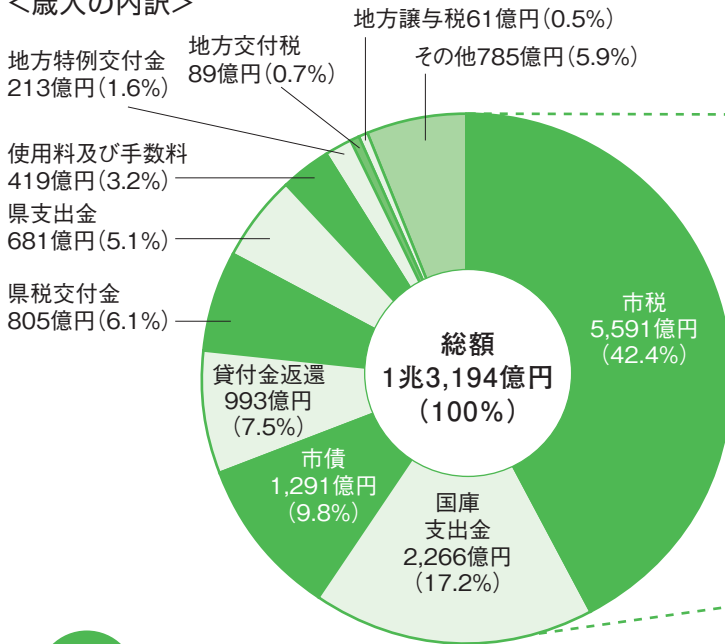
## 《歳入予算》

名古屋市の令和3年度当初予算における市税は5,591億円で一般会計歳入予算の42.4%を占めています。ついで、国庫支出金、市債、貸付金返還等となっています。

これらの収入の中には、その使いみちが特定されているものもあります。また、市債は将来において元利償還をしなければなりません。

一方、市税は市民のために自由に使うことができる財源ですから、市民のみなさんの声を反映させながら名古屋市が行政を運営していくうえで、もっとも重要な役割をになっているといえます。

### <歳入の内訳>



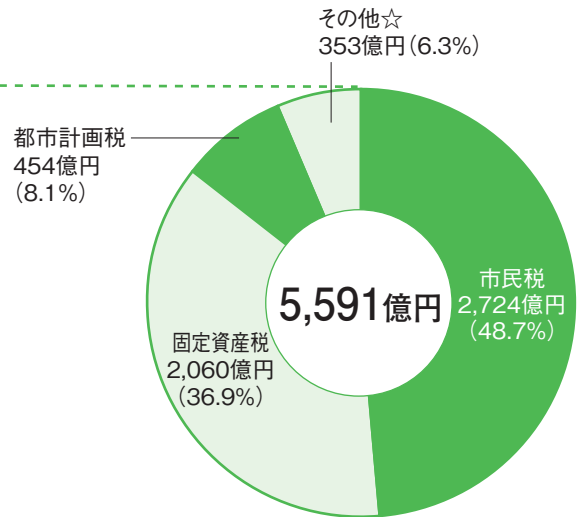
使いみちは…?

地方消費税交付金について  
地方消費税率の引上げ分の地方消費税交付金(令和3年度予算284億円)は、社会保障施策に要する経費(令和3年度予算社会保障施策充当一般財源3,037億円)に充てています。

## 《市税収入の内訳》

令和3年度当初予算の市税収入額は5,591億円です。その内訳をみると市民税と固定資産税が全体の86%を占めており、市税収入の中心になっています。

### <市税収入の内訳>



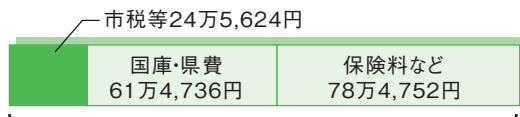
### <市税「その他☆」の内訳>

| 税目    | 予算額   | 構成比  |
|-------|-------|------|
| 事業所税  | 170億円 | 3.0% |
| 市たばこ税 | 155億円 | 2.8% |
| 軽自動車税 | 28億円  | 0.5% |

## 市税の使いみち

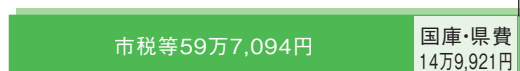
実際の暮らしの中ではこんなふうに市税が使われています。

- 介護保険のための経費2,073億円を要支援・要介護者1人あたりに換算すると…



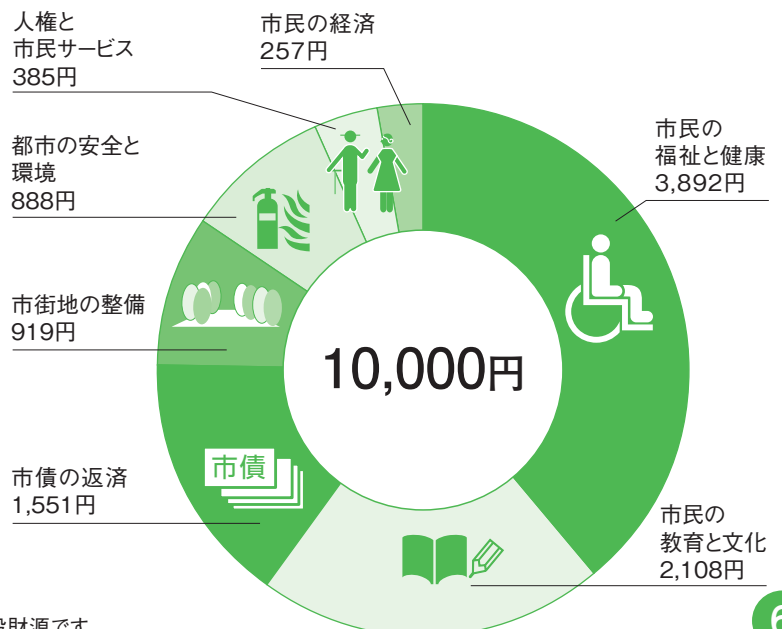
要支援・要介護者1人あたり164万5,112円

- 市立小・中学校の運営費1,218億円を児童生徒1人あたりに換算すると…



児童生徒1人あたり75万189円

### <市税収入10,000円あたりの使いみちを見てみると…>



※市税等とは、市税、県税交付金、臨時財政対策債などの一般財源です。